

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



# 佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

「佐渡金銀山」は**2023年**の  
**世界遺産登録**を目指し、  
今年度の国内推薦が得られるよう  
全力で取り組んでいます！



4月13日(火)、国への要望活動を行いました



**Vol.24**  
2021.9.15

6月1日(火)、萩生田文部科学大臣が佐渡を視察しました

2021年4月13日(火)、花角知事、渡辺市長が県選出の国会議員とともに、佐渡金銀山の世界遺産登録の早期実現に向けて、加藤官房長官、萩生田文部科学大臣等に要望書を提出し、今年度の国内推薦を要望するとともに、佐渡金銀山への視察を働きかけました。

これを受け、6月1日(火)に萩生田文部科学大臣が佐渡金銀山を視察しました。

Sado Gold and Silver Mine Newsletter **第24号** INDEX

- 2…▶世界遺産登録に向けた取組み
- 3…▶推薦書(原案)の修正点
- 4…▶文化財が増えます!
- 5…▶地域の学びと活動の輪
- 6…▶佐渡金銀山を学ぶ取組み
- 7…▶民間団体の取組み
- 8…▶2021年度のイベント情報

# 世界遺産登録に向けた取組み

## ① 国への要望活動を行いました

2021年4月13日(火)、花角知事、渡辺市長が、県選出の国会議員から成る「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟とともに、佐渡金銀山の世界遺産登録の早期実現に向けて、加藤官房長官や萩生田文部科学大臣等に要望書を提出し、今年度の国内推薦を要望しました。

3月に提出した推薦書案は、国からの指摘を踏まえて完成度を高めたことを伝え、萩生田文部科学大臣からは、「皆さんに寄り添って作業を進める」という言葉をいただきました。



加藤官房長官へ要望活動

## ② 萩生田文部科学大臣が佐渡金銀山を視察しました

2021年6月1日(火)、萩生田文部科学大臣が宗太夫坑、道遊の割戸、きらりうむ佐渡を視察しました。

萩生田文部科学大臣からは「実際に現地を拝見して、江戸時代に大規模な金の採掘を手掘りで行った技術に深い感銘を受けました」などのコメントがあり、佐渡金銀山の価値に対する理解を深めていただけたようでした。

また、「どうやって多くの皆さんに見ていただくか」などの課題の指摘もありましたので、県と佐渡市で連携しながら、世界遺産登録を目指して、多くの人を惹きつけるための工夫や取組みを進めていきます。



きらりうむ佐渡視察

## ③ 佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議総会を開催しました

2021年5月30日(日)、ホテル日航新潟において、新型コロナウイルス感染症防止対策をとった上で、「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議 令和3年度総会」を開催しました。

第1部の総会では花角知事や県民会議顧問代表の水落参議院議員の挨拶のあと、県民会議会員が一致協力して、佐渡金銀山の価値の周知や将来の世代へ引き継ぐ保全活動に一層取り組むことを宣言する決議が採択されました。

第2部は記念講演として、観光庁観光地域振興部観光資源課地域資源活用推進室の横田室長より、「今後の観光政策と観光資源の活用について」と題して、オンラインで講演いただきました。ウィズコロナ時代における観光トレンドの変化を踏まえた取組みの方向性など、多岐にわたり分かりやすく分析された国や地方の取組みを紹介いただきました。



佐渡市長あいさつ

# 推薦書案の修正点をご紹介します

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年の国文化審議会における国内推薦候補選定が2021年に先送りとなりました。選定は行われなかったものの、2020年3月に提出した推薦書案に対し、国文化審議会からは顕著な普遍的価値（以下、「OUV」）がわかりやすく表現されたとの評価をいただきました。新潟県と佐渡市では、推薦書案の完成度をさらに高めるべく修正作業を続け、2021年3月末に文化庁に推薦書案を提出しました。以下では「佐渡島の金山」の価値のポイントについてご紹介します。

## ● 「佐渡島の金山」のOUV

16世紀後半から19世紀半ばの極東日本の豊かな金鉱山の島において、国家の管理・運営の下、海外との技術交流が限られる中、ヨーロッパとは異なるシステムとして発展を遂げ、世界に誇る質・量の金を生産した伝統的手工業\*による大規模かつ長期に継続した金生産システムを示す稀有な産業遺産である。

★16世紀から19世紀にかけての伝統的手工業による大規模な生産システムを示す遺跡（物証）が良好に残るのは世界で「佐渡島の金山」のみである。

\*伝統的手工業…長い年月をかけて培われた人力と手作業による工業のこと。

### 「佐渡島の金山」の「金生産システム」

「金生産システム」は、管理・運営や組織を示す「生産体制」と金を得るための技術や工程を示す「生産技術」で構成されています。

#### ○生産体制

- ▶西三川砂金山と相川鶴子金銀山の生産組織を佐渡奉行所が一括管理し、人的・物的に大規模に編制された生産体制を確立した。
- ▶国家の戦略的経営・資本投資と鉱山労働者の文化が生産体制を長期にわたって支えた。



佐渡奉行所が主導して形成された生産組織を示す鉱山町  
（職能別の町として機能的に区割された相川の町）

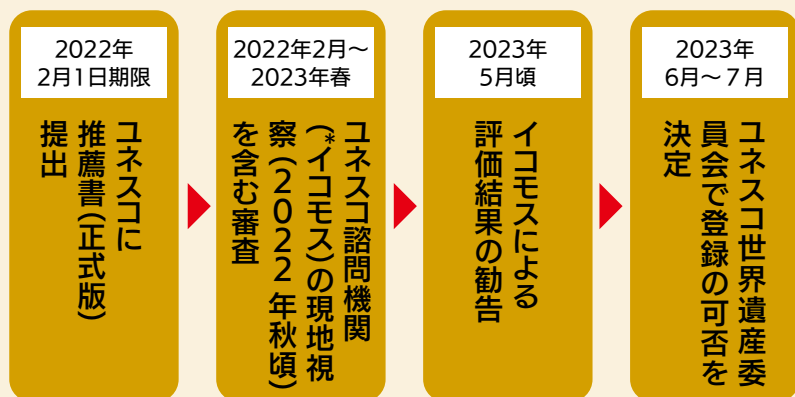
#### ○生産技術

- ▶極めて高品位の金生産を可能とした手工業の一連の生産工程（採掘—選鉱—製錬—精錬—小判製造）を確立し、精緻化した。
- ▶佐渡島の金鉱床の特性に適した掘削・測量・排水・換気など、伝統的手工業による鉱山技術を工夫・改良して深化させた。



高度な掘削・測量技術を示す南沢疎水道  
（専門的な技術をもつ労働者の  
精微な手工業による排水坑道）

## ●登録までのスケジュール



\*イコモス：国際記念物遺跡会議

文

化

財

が増えます！

## 「高田家住宅」が国登録有形文化財に登録されました

2021年6月24日(木)、相川上町地区の「高田家住宅」が、国登録有形文化財に登録されました(「住宅」「土蔵」「門及び塀」の3件)。

高田家は、元禄期(1688～1730)頃より当地に居住した名家で、家業は、明治4(1871)年頃から昭和55(1980)年まで漢方薬製造を営んでいました。万能薬「高田一方精」には、馴染みのある方もいるのではないのでしょうか。

主屋は、上町地区において最大規模の建物です。明治2(1869)年建築の居宅部分と大正9(1920)年増築の「薬品製造所」からなり、近代から現代にかけての製薬産業を伝える施設を併せ持つ住宅です。土蔵は昭和7(1932)年に建てられ、薬品製造所と同じ大工が普請したと考えられます。門及び塀は、基礎となる石組に明治初期の特徴がよく表れており、その上部のコンクリートブロック塀は、昭和45(1970)年頃に板塀から建て替えられたものです。これらが一体となった屋敷構えが、鉾山町相川の歴史の一面を物語っています。



高田家住宅

## 「西五十里道・鶴子道」が国史跡に追加指定へ

2021年6月18日(金)、国の文化審議会が開催され、「西五十里道・鶴子道」を国史跡佐渡金銀山遺跡へ追加指定するよう、文部科学大臣に答申しました。

西五十里道・鶴子道は、真野湾に面した沢根から鶴子銀山を経て、相川金銀山に至る鉾山道です。このうち、鶴子道は戦国時代末期の主要な鉾山道であり、西五十里道は途中で鶴子道と合流し上相川まで延長されました。寛永5(1628)年に山越えの急峻なルートを避けるため、相川と小木を結ぶ相川住環が整備されると、主要幹線は相川往還へと移っていきましたが、以後も地域間を往来する鉾山道として利用されました。

追加指定となる範囲では当時の道路の形状が良く残っており、道路脇には往来の盛んであった時代の石の祠や塚跡などが確認できます。

西五十里道・鶴子道は、世界文化遺産を目指す佐渡金銀山を構成する資産であり、この追加指定により、佐渡金銀山の更なる価値付けがなされることとなります。なお、正式な指定は、10月頃の官報告示で決定します。



西五十里道

国史跡 <sup>かんざぶろうけ</sup> 金子勘三郎家住宅修理事業と住民説明会

◆保存・活用に向けて修理を行います

2021年6月3日(休)から、西三川地区の笹川集落にある金子勘三郎家住宅の今年度の修理工事を開始しました。

今年度の修理工事では、前年度の工事で取り外した主屋の柱や梁等の破損部分を補修して再び組み上げた後、茅葺屋根の葺き直しを行います。

また、2021年6月12日(土)、笹川集落の皆様を対象に、修理工事の現地説明会を行いました。説明会では、金子勘三郎家住宅の文化財としての価値や修理工事の進捗状況を説明した後、修理に伴って柱や梁等が取り外された建物の様子を間近で見学していただきました。参加者の皆様は、実際の現場を興味深く見学していました。

今年度の秋頃には、市内在住の皆様を対象に現地説明会を実施予定ですので、お楽しみに!



金子勘三郎家住宅説明会

相川地区の地域づくり <sup>あいかわくるまざ</sup> ～相川車座の活動～

2020年12月3日(木)に、佐渡市、一般社団法人佐渡観光交流機構、株式会社新潟日報社、株式会社NOTEの4者で佐渡地域の歴史的建物を活用した地域活性化に関する「連携協定」を締結しました。これは、佐渡の歴史的な建物などを活用した地域活性化を推進する事業活動等を支援することを目的とするものです。この支援を受けて、地元市民で結成された相川車座によって相川地区での“まちづくり”が進められています。



意見交換会



クリーン活動

地域に根差した活動になるようにと、はじめに「車座の会」と題した意見交換会を6会場で7回開催し、市民の様々な意見を“まちづくり”の取組みに活かしています。

まず、クリーン活動や、国史跡の北沢浮遊選鉱場跡での地域密着型のイベント(ミライノキタザワ)など、直ぐに取り組める活動を行いつつ、古民家の活用計画も着々と推し進めています。

また、これらの活動を支援する目的で、相川地区全戸に配布される広報紙「まちづくり あいかわ」を市役所相川支所が発行しています。官民連携で取り組む、歴史的資源を活用した“まちづくり”に期待が膨らみます。



ミライノキタザワ：郷土芸能披露



ミライノキタザワ：スポーツ体験

# 佐渡金銀山を 学ぶ取組み

## イオン「新潟フェア」でのPR

イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー様の協力のもと、2021年7月10日(土)に、イオンモール新潟南にて佐渡金銀山のPRを行いました。当日は多くの方々から来場いただき、展示を通じて佐渡金銀山の魅力を紹介することができました。来場者からは「佐渡金銀山が早く世界遺産登録されるよう応援している」といった声が寄せられました。



当日の展示の様子

## 「東北ハウス」新潟デーでのPR

東日本大震災の発生から10年の節目に、世界から寄せられた支援に対する感謝の気持ちを伝え、東北・新潟の魅力を発信するイベント「東北ハウス」を7月22日(木)から8月7日(土)に東京の秋葉原で開催しました。このうち8月4日(水)、5日(木)は「新潟デー」として、オンライントークショーやクイズ大会により、佐渡金銀山のPRを行いました。

開催内容の一部は、2022年1月24日(月)まで「東北ハウス」公式ウェブページからご覧いただくことができます。



当日の様子

きらりうむ  
佐渡通信  
vol. ③

### 「きらりうむ佐渡」の様々なイベントを紹介します

きらりうむ佐渡では、年間を通して季節に合わせた様々なイベントを開催しています。

今回は、その一部をご紹介します。



2021年 3月20日(土)～4月4日(日) 春企画

### 「親子できらりうむを楽しもう！」開催

展示室では、展示室内のイラストに隠れた「にゃんじー」を探す「にゃんじーを探そう!」、講堂では、ダンボール迷路を設け、多くの親子連れでにぎわいました。



ダンボール平均台



ダンボール迷路

2021年 4月29日(木・祝)～5月9日(日)

開館2周年企画

### 「ゴールデンウィーク感謝祭 まるまるきらりうむ」開催

佐渡金銀山に関連する「丸い物」を現地で見つけるイベント「まるいものを探しに行こう!」を開催したほか、講堂では、小判すくいや地下水をくみあげるために使用した水上輪体験を行い、子どもたちの元気な声が響きました。



子供に大人気「小判すくい」

2021年 2021年7月1日(木)～7日(水) セタ企画

### 「佐渡金銀山世界遺産推薦候補選定折念 たなばたあえかきまつり」開催

佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた応援イラスト・メッセージを大きな紙に書いてもらいました。また、ご来館された皆様から、短冊に願いを書いてもらい、館内の笹の葉に飾りました。



短冊がいっぱい!



たくさんのイラストをありがとうございました。

# 民間団体の取組み



## ◆一般社団法人 佐渡を世界遺産にする会

### 記念講演会を行いました

2021年6月4日(金)、元ユネスコ事務局長の松浦晃一郎先生を講師に迎えて、記念講演会を開催しました。100名を超える聴衆を前に、世界遺産登録についてのユネスコの考え方を理路整然とご説明いただきました。

また、鉱山関連の世界遺産はたくさんあるが金山は非常に少なく、佐渡が世界遺産に登録されれば非常に意義のあるものだという点を強調されており、目から鱗が落ちる思いで聞き入りました。国内推薦候補選定に向けて、大きな力を与えていただいた講演会でした。



記念講演会

### おかねに 御金荷の道ウォークを 行いました

2021年6月12日(土)、13日(日)、「2021御金荷の道ウォーク」を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症状況を鑑みて島内在住者限定としたため、参加者は例年よりは減少しましたが、それでも、1日目49名、2日目36名の方がウォークに挑戦しました。また、初日は親子コースを設定し、13名の親子が参加しました。

暑い中でしたが、道中では、鬼太鼓や民謡、小獅子舞などの郷土芸能を鑑賞しながら、がんばってゴールにたどり着きました。世界遺産国内推薦候補選定に向けて大きなアピールができました。



2021御金荷の道ウォーク

## ◆鶴子銀山へ続く道を歩こう

### 鶴子銀山跡草刈りボランティア活動と勉強会を実施しました

2021年6月26日(土)、「鶴子銀山へ続く道を歩こう」の会員が、鶴子銀山跡の草刈りを行いました。13年間続けている活動で、長年、史跡の景観維持に協力しています。

また、草刈り終了後には、2021年6月18日(金)に国文化審議会で国史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定の答申を受けた、「西五十里道・鶴子道」に関する勉強会を開催しました。



草刈りの様子

## 世界遺産推進寄附金支援のお願い

佐渡市では、世界に誇る貴重な遺産群である佐渡金銀山を守るために、「世界遺産推進基金」を設けています。佐渡金銀山の歴史を未来へつなぐ取組みに、ご支援をお願いします。

### ◆世界遺産推進基金で次のような事業に取り組めます。

#### □ 守り伝える

- ・佐渡金銀山遺跡を保護・保存する取組み
- ・構成資産と遺跡の周辺環境を守る取組み

#### □ 価値を証明する

- ・鉱山絵巻など、価値を補完する資料の収集
- ・各種調査・研究の支援

★佐渡市ふるさと納税「佐渡金銀山の世界遺産登録応援コース」からのご寄附も受け付けています。

2021年度

# 今 後 の イ ベ ン ト 情 報

※詳細は、チラシやホームページ、市報等でお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽、延期・内容変更・中止となる場合がございますので、ご了承ください。

## ■佐渡金銀山体験講座「おりがみ建築で佐渡金銀山をつくろう！」

お申し込み先：きらりうむ佐渡 TEL:0259-74-2215

◆一枚の紙にカッターで切り込みを入れ、折るだけで立体的なカードができる「折り紙建築」といわれる方法で、「佐渡金銀山」をつくります。

- ・日時：①2021年9月18日(土) 13:30～15:30 ②2021年10月24日(日) 13:30～15:30
- ・会場：きらりうむ佐渡 ・定員：各回30名(要予約) ・講師：五十嵐暁浩氏

## ■佐渡金銀山遺跡講演会

お申し込み先：佐渡市世界遺産推進課 TEL:0259-63-5136

◆世界の他の鉱山との比較研究を通して、世界に誇る佐渡金銀山遺跡の魅力や価値をテーマに、専門家による講演会を開催します。

- ・日時：2021年10月 2日(土) 13:30～15:00 ・会場：佐渡中央文化会館(アミューズメント佐渡)
- ・定員：100名 ・講師：岡田保良氏(国士舘大学名誉教授・日本イコモス国内委員会会長)

## ■佐渡金銀山遺跡現地散策見学会

お申し込み先：佐渡市世界遺産推進課 TEL:0259-63-5136

◆佐渡金銀山遺跡に関する最新の調査、研究など現地を見学しながら、解説します。

- ・日時：①2021年11月 7日(日) 13:30～16:30 西三川地区 ②2021年11月13日(土) 13:30～16:30 上相川地区  
③2021年11月14日(日) 13:30～16:30 相川地区
- ・集合場所：きらりうむ佐渡 ・定員：各回20名(要予約) ※応募多数の場合は、抽選で決定します。

佐渡市では、市内の文化財や世界遺産に関する情報を3分で分かりやすく紹介する番組



「文化財3分ルッキング」を

インターネットサイト【YouTube】で配信しています。



新潟県・佐渡市

2021年9月15日発行



新潟県文化行政課HP 佐渡市世界遺産推進課HP



新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室  
TEL025-280-5726  
E-mail ngt500080@pref.niigata.lg.jp

佐渡市世界遺産推進課  
TEL0259-63-5136  
E-mail k-goldmine@city.sado.niigata.jp